

平成 28 年 1 月 18 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

広友ホールディングス株式会社の
「S M B C 環境配慮評価私募債」の買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は広友ホールディングス株式会社（代表取締役社長：梅木 健行）の発行する「S M B C 環境配慮評価私募債」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「S M B C 環境配慮評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、広友ホールディングス株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境マネジメント」「環境負荷の把握の状況」「環境ビジネス」の面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、グループ全事業会社でエコアクション 21 に基づく環境マネジメント推進体制を構築され、独自の管理指標を用いながら環境への取り組みと企業経営における効果を定量的に把握し始めておられる点、事業活動に伴う CO2 排出量や廃棄物排出量等の環境負荷について把握するだけでなく、イベント等でレンタルする備品の使用時に排出される CO2 排出量を算定しておられる点、環境ビジネスでは、事業活動そのものが環境にやさしいレンタル事業を中心に展開しておられるほか、レンタル品としては適さなくなった備品についても独自のメンテナンスでリファインし、グループのリサイクルショップで販売するなどの取り組みを通じて、資源循環型社会の形成に貢献しておられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



レンタル品のメンテナンス及び保管用の倉庫(千葉県)



日本最大級の中学入試会場における納品事例



カーボンオフセット証明書

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。